

■安積中学校■安積高等学校在京同窓生

# 東京桑野会会報

●昭和59年9月1日発行●発行・編集人 澤田 悌●発行所・東京桑野会事務局＝東京都中央区銀座8-15-15銀座原ビル 6F



昭和29年当時の正門及び本館

100周年特集号



## 母校創立百周年記念式典

あ い さ つ

東京桑野会会長 澤田 悌



一言ご挨拶を申し上げます。本年は桑野の母校が安積中学・安積高校と続いて創立百周年を迎える記念すべき年に当たり、桑野の現地においては来る九月に盛大な行事が予定されております。

ついては東京桑野会といたしましても、定例の年次総会の機会にお祝の式典と祝賀のパーティーを開催することといたしまして御案内を差し上げましたところ、かくも多数の東京地方在住の同窓生の方々の御出席を頂き、世話人としていたしまして感激の至りに存じます。

また本日来賓として、恩師の小塚先生、郡山から村上校長先生初め関係の先生方、安積桑野会から滝田会長初め役員の方々、そして東京の安積高女同窓会の秀瀬さん初め幹部の方々と、多数の皆様のご臨席を頂きまして、ここに厚くお礼申し上げる次第であります。

さて、あの懐かしい桑野の学舎に、中学生として又高校生として多感な青春前期の数年間を過ごした多数の同窓生が、東京地方においても各方面各分野で活躍されておりますが、本日は第25期大正2年卒業の後藤憲平大先輩から第96期のまだ大学在学中の若い世代まで、お元気に顔を揃えられ、こうして百年に一度のお祝ができますことは本当に同慶の至りに存じます。

顧みますと、過ぎ去った日本百年の歴史は正に激動の一世紀であったと申せましょう。明治維新20年も経ない頃開校された我が母校は、間もなく福島県の中心部である桑野の地にその礎を定め、今日迄百年の激動の流れに耐えて多数の人材を世に送り続けてきたのであります。それがあの不幸な太平洋戦争の結果、予想もしなかったような国全体の大改造が行われ、我が母校も中学から高

校に移り変わるようになったが、我々年輩の者にとっては特に感慨深いものであります。しかし同窓会としては一貫して「桑野」の名のもとに百年の歴史を背負って存続されていることは大変幸せなことと思えます。

わが東京桑野会も年々若い高校卒の諸君を迎え入れて、今後の一層の発展と充実を期待することができます。それにつけても代々の会長初め先輩方の絶えざるご尽力に対しましては感謝にたえません。本日歴代会長のゆかりの方々をお招きいたしまして東京桑野会として感謝の意を表することにいたしております。

私共はこの百周年を迎える機会に、東京桑野会の活力を一段と盛り上げたいと考え、昨年役員交替と常任幹事の強化を実施し、又東京地方在住の同窓生の方々に対するコミュニケーションの充実のため、ささやかながら東京桑野会の会報を発行しております。私は会報第3号にも書いた通り東京桑野会というものは、

- ① 桑野の母校に学んだという共通の経験に結ばれた同窓生の親睦の会であること
- ② 会員はみんな仲良く相親しみ楽しい会であること
- ③ 何んらかの意味で会員の頼りになるような面もある会であること

と言うように考えております。お互いにこの会を大切に、発展充実させて行きたいものです。

本日は郡山における秋の記念行事にさきがけて、大いに母校百周年を祝い、心から相語り、相楽しみたいと思います。以上をもちまして私のご挨拶といたします。

祝辞 安積高等学校校長 村上啓正

東京桑野会総会にて、母校創立百周年の記念式典が盛大に開催されましたことをお祝申し上げます。皆様方には常日頃母校に暖かい御声援御支援を賜っていることをこの席を借りまして厚くお礼申し上げます。母校の現況と百周年記念行事の進行状況等を簡単に申し上げまして挨拶に換えたいと思います。

現在母校は普通課27クラス、理数課3クラス、計30クラス、生徒総数1,378名、教職員数81名の大規模校であります。教育方針といたしましては、質実剛健の気風のもとに開拓者精神をもって学ぶという安積の伝統を踏まえ、文武両道を標榜し学業と部活の両立を目指して頑張っております。

新聞報道等で非行暴力等よく話題になりますが、安積におきましてはそのようなことは一件もなく、正常なもとに教育が進められております。生徒99%の殆どが大学進学を希望して勉学に励んでいます。今年3月の大学の進学状況は、国立大学に233名、私立大学503名、今年は東北大36名、新潟大26名、東大8名と県下一でございまして、私立校では難関といわれる学校を中心に数多く送り込んだというのが特徴であります。

部活動は剣道、バスケ、卓球等に非常に良い成績をおさめています。文化系では新聞部が全国で一位になりまして文部大臣賞を頂きました。このように生徒達は百周年にふさわしい教育の充実

ということで頑張っております。

次ぎに百周年の事業行事関係につきまして、9月8日10時から11時30分まで式典を予定しています。この式典には、ここにおいでの方の参議院議員佐藤米佐久先生のお骨折りで、現時点では文部大臣が出席して頂くことになっております。式典を中心に式祭、体育祭等いろいろな行事を計画しており、盛大な式典になると思われまますので皆様方お揃いで式典に参加していただくよう御招待申し上げます。事業関係では、桑野会館の改修工事が進みつつあります。また国の重要文化財に指定されています旧本館を利用し、安積百年に関わる資料を展示する歴史博物館を作る計画が着々と進んでおります。また安積百年史の編纂をしており、1,300ページ程度のものが9月8日には出版できる予定です。その他安積健児の像を日展評議員の先輩の佐藤先生にお願いし、玄関の前に設置する予定です。また式典の曲を先輩の湯浅譲二先生に作曲して頂けることになっております。これらの事業を完遂するために、1億3千万円の募金を計画しております。皆様方の浄財によりましてこの事業が滞りなく目的を達成できるものと思います。福島県のトップをきり百周年を迎え、百周年にふさわしい教育内容の充実努力しており、今後共、先輩の皆様方の暖かい御声援御支援の程をよろしくお願いいたします。

祝辞 安積桑野会会長 滝田元二

梅雨の晴間に美しい緑につつまれたここ椿山荘において、東京桑野会総会並びに百周年を祝う集いに安積桑野会会長として出席出来ますことはまことに光栄に存じます。

皆様方が青春時代を過ごされた母校安積高校は明治17年9月11日福島県尋常中学校として授業が開始されて以来百年の歳月を数えるに至り、その間安積健児の尊い歴史が続き質実剛健をモットーとして県教育会の中核をになって新生安積はいよいよ躍進している次第であります。

この時に当たり東京桑野会では創立百周年記念式典が盛大に有意義に挙行されましたことに喜びにたえません。また東京在住の同窓生の方々が各方面で立派に御活躍されていますことは喜びにたえません。すでに御承知の如く、百周年実行委員会が発足し1億3千万円の募金の目標を掲げ記念事業が進行しつつあります。今後とも皆様方の御協力をお願いいたします。おわりに、安積一世紀を迎えるとき、東京桑野会の皆様方の御発展と御隆盛をお祈り申し上げます。



東京桑野会百周年記念祝賀会

東京桑野会総会の後、東京桑野会百周年記念祝賀会が、昭和59年7月14日椿山荘にて300名を越えるこれまでにない多数の出席者を迎え盛大に催されました。記念パーティーでは出席者の中の第25期の後藤憲平大先輩と第96期の諸君、それに沢田会長による壇上での応援歌の合唱、また憧れの安女同窓会からの祝辞等大いに盛り上がりました。何十年振りであう懐かしい顔、あちこちで談笑の輪ができていきなり、安積百年の歴史を感じました。

渉外担当支配人  
竹花則栄(55期卒)

CHINZAN SO  
**椿山荘**  
東京都文京区関口2-10-8  
☎03(943)1111  
📍藤田観光

- 大小23のご披露宴会場。
- 800名様までの日本料理・フランス料理着席ご披露宴。
- 庭園での記念写真も随時お撮りいただけます。
- チャペルでの挙式もできます。
- 最新機能の音響・照明設備。

只今、ご婚礼・ご宴会ご予約承り中。

華やかな「宴」のとき。

# 東京桑野会会員のアンケートによる「安積百年の思い出」

会報編集部では百周年記念特集として、総会当日にアンケート用紙を皆様に配布いたしまして、皆様から多くの回答を頂きました。紙上をお借りしましてお礼を申し上げます。

アンケートの内容は、以下のようになりました。

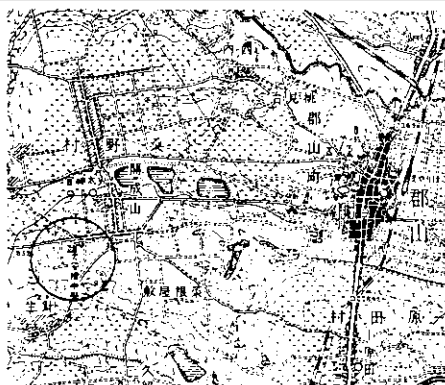
- ① 当時の服装
- ② 通学経路
- ③ 昼食等の食生活
- ④ 硬派と軟派について、またあなたは？
- ⑤ 在学中の最大の事件
- ⑥ 上京した時の志とその後
- ⑦ 母校、東京桑野会について

アンケートによって各時代時代が浮き彫りになり、伝統といったものや、気風、風景が見えてきます。

尚紙面の都合上、期が重なって内容が同じような場合は割愛させて頂きました。ご了承下さい。

## 26期 藤田三郎(元日本放送電参事)

- ① 普通は下駄、体操のある日は靴、紺のかずりにはかま、しもふり夏服に着替えた時にはうれしかった。
- ② 郡山大町今泉先生宅から通学、街並みのイメージ等消えて思い出せません。
- ③ 多分弁当持参のように思います。学校から帰ると必ずおやつができました。おにぎりに漬物、おにぎりは胡麻塩や甘いきな粉がつけてありました。今泉先生初めお家の方が親切にしてくださいましたことを、今も感謝し続けています。
- ④ 硬派でも軟派でもない中立派。
- ⑤ 何年生の時か不明だが猪苗代水力発電所建設現場を修学旅行で見て気に入り電気を希望。当時無試験は旧制二高だけだったから仙台へ、仙台から上京



明治41年測 日本図誌大系より

して東大で電気工学を専攻した。

- ⑦ 26期三沢敬義君が東京桑野会会長の時、一度出席したが、次の会長にならんかと薦められ、そんな柄でないと断り、後は出席したことなく。この百年祭に出席したが知人が一人も無いので淋しかったです。親しき友皆先立ち行きてお暗き浮世に一人たたずむとはこのことでしょう。

## 39期 日下部豊吉(ろうちえん園長)

- ① 制服、肩下げカバン、下駄、帽子は真中が破れていて羊羹色になっていた。靴は軍教用のみ。
- ② 徒歩、郡山市本町3丁目(現1丁目)から麓山公園の旧道沿い。
- ③ 日の丸弁当が主体、たまに塩鮭が入った位。
- ④ どちらともいわく言い難し。
- ⑤ 大正15年、福島における中等学校弁論大会で優勝したこと。
- ⑥ 30才迄地元郡山に在住、最初の勤務先は大阪、東京、水戸で戦災復興後在京。
- ⑦ Video遺言の作成のため母校を訪問した。

## 39期 吉田 啓

- ① 夏服まで袴、着物姿、6月から8月まで小倉霜降りの制服、9月から冬服生地はヘル。鞆はズック上級生は気取って肩に吊り下げていた。
- ② 近隣の町村から自転車利用が多かった。バスはなかったから汽車通学も学校まで徒歩金透小学校前を通るのが通例、帰路は安女通り、麓山公園横等、歩きながら本が読めた。
- ③ 各自弁当持参、寄宿生は食堂へ戻って食べた。
- ④ 軟派は頭を五分刈りにし、鏡にむかって何かを塗る、安女前を通る。小生は硬派の最右翼だったろう。
- ⑤ 全校的には一谷源八郎校長排斥運動。小生自身では大田原中学に遠征し、柔道試合に勝ったこと、3年の時に安積に遠征してきて破れており、その仇を討った。
- ⑥ 早稲田大学の政経学部政治学科に入り、政界入りを夢みて新聞記者の道を選んだ。第二次近衛内閣に大和田悌二氏の入閣が内定し、秘書官になる段取りだったが、毎日新聞の井上修三君がスクープして夢は去った。
- ⑦ 高校野球の時期になると新聞に安積の名が出ないかと気にする。東京桑野会は300人を越す盛会だったゆえ、今後も盛会が続くようお骨折りください。



大正9年 講堂における開校記念式

## 索道施設の総合設計施工管理

豊富な経験、最新の技術、万全のアフターサービス

# 東京索道株式会社

本社・工場/横浜市金沢区鳥浜町12-9

〒236 ☎045 (774) 7111(代)

〒062 ☎011 (812) 0467

取締役社長 横尾正七郎(第47期)

- ゴンドラ
- スキーリフト
- ロープウェイ
- ケーブルグレン

42期 沢田 悌 (短資協会会長・  
(社)震ケ関カンツリークラブ理事長)

- ① 履物は登校時靴、他高下駄。肩カバン、制服制帽。
- ② 須賀川町から汽車、郡山駅から徒歩、駅前は当時と大きく様変わりした。
- ③ 弁当持参、但し1時間早く食べてしまい、後は空腹状態。
- ④ 硬派とか軟派とか言っても、大した違いはなかった。多少早く色気づいたのが軟派か？自分は中間派。
- ⑥ 旧制高校と大学を出て、然るべく仕事をしたいと考えていたが、概ねころざしは買いたつもり。
- ⑦ 東京桑野会が母校百周年を機会に沈滞状態を脱して発展するよう努力している。

43期 鎌田正二 (東京シンクサービス代表)

- ① 制服制帽でカバンをさげ靴を履いていた。
- ② 八幡様の裏の清水台の義兄の家に住んでおり、大体安女の前を通り、開成山を通るか日東紡の前を通り農事試験場の前を通るかした。安女の前を通り安女生に会うのが楽しみだった。
- ③ 弁当を持参した、冬は火鉢の上の弁当あっため器にのせて、弁当をあたためて食べた。
- ④ 軟派といっても今から見ると大したことなく、硬派は存在を知らなかった。
- ⑤ 中学一年の時母が死んだこと、その前年に父を失っていたので両親を失ったことになった。
- ⑥ 中学4年の時一高を受けに上京、見事落第した、その時齊藤実、柳沼久弥、沢田悌の三先輩と同車だった。入学したのはその後3年たってからであった。
- ⑦ 今回の東京桑野会はまことに盛会だった、この盛会を次回も維持したい。

44期 高橋勇夫

- ① 金透小学校から昭和2年に安積中学に入学、小学生は殆どが和服でした。制服は夏が霜降りの詰襟、冬は黒の詰襟で、病気等のみ許可を得て、和服袴着用下駄ばきで登校しました。
- ② 汽車通組と市内組に二分されていた。主要な通学路は金透一日東紡-浄水場-開成山から桑野路に出ると、女学校通りとあったが、質実剛健の気風からか市内組の私も遠回りした。三年生以上になると、肩から鞆をぶら下げ、腰に手拭を下げ、上級生の特権のように女学校通りを得意顔で通った。その頃開成山大神宮の裏山に、馬の種付場があり、これを見ていて遅刻した。
- ③ 皆弁当持参、その頃コロケが5銭ラーメン8銭、丼が20銭、ロシアパンがよく売られ味気ないがよく食べた。空腹の帰宅の途中、二番池の桜の樹に登り、山桜の実を食べたり、一番池に泳ぎ蓮の実や「ヒシ」の実を食べ空腹を癒した。
- ④ 当時の郡山に、映画館が富士館、清水座、大正座、緑座があり、赤線が駅前裏小路、堤下にも一群があった。公娼が赤木にあった。当時学校の監視も厳しく、映画館は勿論、花柳界へ侵入等及びもつかなかったが、一部の上級生がこの巷に介入した噂があった。
- ⑤ 4年生の一週間の猛烈修学旅行に疲れ果てたこと。
- ⑥ 専売局を止めて上京、姉の住む川崎の日本鋼管に就職、昭和13年に召集、歩兵214連隊(白虎部隊)に所属、昭和17年胸膜炎にて召集解除、19年に再度召集、二十から三十まで殆ど軍服であった、復員して日本鋼管に戻り、それから20年安積健児の精神力、実行力を発揮し、管理職で定年退職、その後

系列会社に7年勤務の後現在に至る。  
⑦ 一昨年44期の同窓会を三春で行った。東京桑野会の今年の総会は百周年もあって本当に盛大でした。老いも若きも一体となって語り、唄うこんな同窓会はやっぱり日本一と思います。今後も元気な限り続けて出席します。

44期 増子正宏 (川崎市教育委員会  
委員長、東京家裁調停委員)

- ① 履物は編上革靴。カバンは自由で私は手提げ、4,5年生の頃は茶色のスエード製だった。冬服はヘルカラシャで上等のものだった。ゲートルを巻いて通うようにきめられたのは4年生の頃か？
- ② 現在の橋小学校の近くから麓山公園わきを通って、校庭の東側の入口から入る経路を徒歩で通った。途は一本道で単調だがその両側に広がる田畑や池水原野の自然は素晴らしく、春夏秋冬そのすべてを通じて私の心を楽しませ、慰めそして鍛えてくれた。この通学路の恩恵を私は忘れることは出来ない。
- ③ 家からの弁当を食べたが、あの頃は食べ物に不自由のない良い時代だった。
- ④ 硬派軟派のいづれも噂として聞いたが、その実態は知らない。生徒の大部分はそのいづれでもなかったと思っている。
- ⑤ 個人的には父の失職がある。
- ⑥ 修学旅行を除けば、最初の上京は上級校受験のため、その結果は志望通りであった。その後も延長線上を進んだことになる。
- ⑦ 時折思いがけなく、或る人が安積出身者だとわかることがありそれが立派な仕事をした人である場合には大変誇らしく自分の事のように嬉しくなる。

営業品目

- 産業廃棄物の処理
- 一般廃棄物の処理
- 産業廃棄物の加工

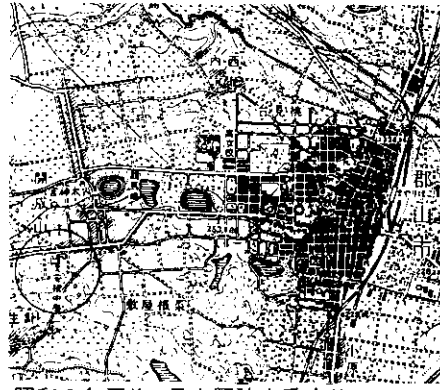
市原不燃物処理株式会社

〒290 千葉県市原市五井 2887 TEL 0436-21-6308

代表取締役鎌田正二 (第43期)

45期 矢吹陸郎 (医療法人有隣会・南浦和病院長)

- ① 昭和5年まで弊衣破れ帽子、下駄と靴のチャンボン、満洲事変のあった昭和6年頃からゲートルと靴が強制された。
- ② 自宅から鏡石駅まで4km徒歩、鏡石から郡山まで汽車、郡山駅から学校まで4kmを徒歩、往復16kmを歩いた。安女生と駅や汽車と一緒にになれるのがプラトニックな楽しみだった。
- ③ 弁当、但し昼食時間前の休み時間か授業中に食べてしまい、昼休みは遊んでいた。3,4年生になって裏の松山でタバコ等いたずらし味を覚えたのも、この時間だった。
- ④ 硬派へい衣破帽でバンカラ振る、但し陰では女工・下町女と遊んでいた。軟派—スマートなおとなしい姿で、陰では女学生・女工等と密かにつきあっていた。私は中間派適当にバンカラ適当に軟派、両者に友人が多かった。
- ⑤ 如空寺境内で、友人が殴られた仕返しのためハデなグループの喧嘩をしてそれぞれ処分され、私は沖チャンから始末書を書けといわれ「正しいと信じているから書きません」と言い張ったが、泣いて口説かれ、卒業の日に眼前で焼き捨てる約束で書いて、その通りにして下さった。不肖の生徒でした。
- ⑥ 引揚げ後厚生行政の道に入り、福島県で保健所長や県の課長をしている中に厚生省から「地についた施策をやるため」とかで引っぱり出されて上京、その後本省、防衛庁、栃木県庁、等を経て今の病院を開業、医者としては変わった多彩なコースであった。
- ⑦ 同級の滝田元二君が同窓会長になり、心から応援している。東京桑野会は今度の新体制で何とか良いレールを敷いて残したい。



昭和6年要修 日本図誌大系より

45期 佐藤静司 (彫刻家)

- ① 編上靴、ツックのさげカバン、黒ラシャのつめ襟服、夏は小倉の霜降り、帽子は蛇腹の白線二本。
- ② 往路は浄水場の松林をながめ二番池に写る安達太良山の姿をめながら、冬は安達太良風しに飛ばされそうでした。帰路は公会堂の通りをかっこうの声を聞きながら歩きました。
- ③ 弁当はばあやが作ってくれた、塩引き鮭、のり、梅干し。
- ④ 小生は彫刻家になりたいと志し、4年の時休学で上京し、途中戦争で中断しましたが、以来彫刻家としての道を歩んでいます。
- ⑤ 本校舎が文化財になった時に、日展出品の180cmの木彫を寄贈しました。本年百周年記念の為安積健児像の3人群像(ブロンズ)を製作しております。

48期 青山勝馬 (元日本橋税務署長、税理士)

- ① 身体が小さい方であったので、背中一杯のランドセルが歩いているような入学当初が思い出される。
- ② 約10kmの自転車通学で、雨の日、雪の日、特に磐梯風しの西風がまともに身体にあたるのがつらかった。凍結した

裁判所の坂で転倒したりもした。

- ③ 冬の弁当温め箱からの美味しい匂いが教室に広がり、先生の講義など馬耳東風、昼食時まで弁当の中味が無い学友も時にいた。
- ④ 服装でも若干違って、硬派は帽子をテカテカにしており、軟派はラップズボン。
- ⑤ 2・26事件当時、兄が在京部隊にいたので反乱軍になっているのではないかと心配していたが、鎮圧側であった。
- ⑥ 不況の最中、北支事件勃発に端を発し戦火拡大の一路、上京して大蔵省主税局に就職した。戦費調達のため新税(物品税等)立案の繁忙期、夜遅くまでこき使われた頃が思い出される。カレーライス一杯で真夜中まで輪転機を回した。

49期 星武夫 (日松商事代表取締役)

- ① ゲートル、下駄履き(下駄履き許可証必要あり)、ランドセル、黒の詰襟(小倉服)、帽子普通なるも白線は糸止めなし。
- ② 須賀川より汽車通学、郡山駅—金透小学校下—麓山公園前—公会堂を経て谷のある雑木林の中を、所謂中通り。
- ③ ドカベン時折り正門前のそば屋(やき芋屋)へやき芋は五銭有れば充分。
- ④ 小生は剣道部に入部していたので、硬派寄りの中途半派。
- ⑤ 現職校長の急死(2年)、50周年記念行事(3年)、2・26事件(4年)。
- ⑥ 昭和43年工場(日立)より本社(丸の内)に転勤長い間の工場暮らしが身につについて戸惑いを感じた、青雲の志といったものは特になかった。
- ⑦ 東京桑野会会報が軌道にのったことを嬉しく存じます。担当幹事の方々の労に感謝します。

# 騒音・振動・超低周波

〈計量証明事業登録第507号〉

- 現況調査 ○予測計算 ○防止対策計画
- 消音・防振装置の設計と製作
- 実績 エネルギー・運輸 金属・化学  
電子・機械 繊維 機械 紙パ  
自動車 造船 食品



**東昌エンジニアング株式会社**

〒108 東京都港区港南 2-4-7 (石橋ビル)  
電話 03-471-5891 代表  
代表取締役 鈴木健生 (第48期)

#### 49期 高橋 巖 (四国変圧器KK)

- ① 背囊に巻脚絆で兵隊さんに近い服装であったように記憶している。
- ② 完全徒歩通学、経路の2/3は野原、畑の中を歩く。自転車の先生に追い越される時は、停止敬礼をした。
- ③ 物資はまだ不足しておらず、食生活は良かったと思う。
- ④ 質実剛健の気風が浸透、全員の足並が揃い真面目であった。
- ⑥ 戦後これからは貿易だと思い、商社に入社。定年まで勤める。

#### 49期 増子友康 (元防衛庁勤務)

- ① 制服は木綿地の黒、靴はゴムの短靴、四年生の修学旅行の時だけはゴム底の革の編み上げを買って貰った。巻脚絆は木綿地。帽子は五年間に一つだけ。
- ② 家から舞木駅まで約3km、峠を二つも越え徒歩、郡山まで汽車、また郡山駅から中学までの徒歩、これが身体を鍛練するのに大いに役だった。
- ⑤ 創立50周年記念に仙台の第2師団長だった東久邇宮が来校? 四年生の時に起きた2・26事件の直後河島教頭先生が事件の背景等についてお話された。
- ⑥ 2・26事件の翌年支那事変が始まる。陸士(予科)に入り身の引き締まるのを覚えた事が昨日の様に思える。本科在学中ノモンハン事件、卒業の翌年大東亜戦争、終戦まで軍籍に在り、終戦は陸軍航空士官学校生徒区隊長(58、59、60期担任)。省みて、私達の年代の者には青春時代がなかった。だから余計に中学の五年間が伸び々と息がつけたと思えて懐かしい。
- ⑦ 東京桑野会は役員の方のお骨折りで、今後も青春時代の良き思い出を語り得る楽しい会にして戴きたい。勿論私達会員も応分の勤めを果たしたい。

#### 49期 大森直道 (株弥生工業代表取締役)

- ① 制服、冬はランジャ、サージ、小倉の黒、夏は今はどこにも見られなくなった霜降、夏冬ともゲートル着用。炎熱の時も上着は必着。たまに「ボタン三つはずせ」など有り難い号令がかかった。靴は革の編み上げがたて前、父兄の財布をおもんばかって、ゴムの短靴が許された、けがの時は下駄。デカイ鑑札を下げた。カバンは将校用ランドセル、但し第一回の47期生と比べると品質は劣悪。
- ② 遠距離は許可を得て自転車。オートバイは絶無。汽車は今と同じ、在校中にバスが来るようになったが、生徒は法度。病気の時許可を得て乗車。市内から麓山をはずれると畑、畑、畑、なつめ、柿、ざくろ。時々は無断頂戴。安女の前を通ることは禁制だったのか、自制したのか覚えていないが、とにかく通らなかった。
- ③ 全員弁当持参、在校中に売店ができたが、パン等の食品はなくて、文房具だけ。正面のそば屋は出入り禁止、それでも入った。冬、そば屋はやき芋があり、道で拾った十銭で、やき芋を買い、二三人で裏道をほおぼりながら歩いていたら、自転車の先生に見つかった、「カイゼル」佐藤勝一先生であった。
- ⑤ 3年生の時50周年祭。その頃校舎が古くなったので50年記念に建替えて貰おうと県に陳情、調査に来た県官がまだまだ使えると判定して建替えはお流れとなった。「人間万事塞翁が馬」
- ⑦ 福島民報、民友の百年ものや桑野会報を見ていると、おおらかないならずや行儀の悪さなど我々の時とちっとも変わっていない、伝統の強さに驚いた。  
[追記] 当時の禁制の最たるものは映画、演劇の鑑賞であった、一月か二月



50周年記念講演 (新城博士)

に一度くらい映画の鑑賞が許された。どうしても見たい時は決死の覚悟でもぐりこんだ。或る時「名画」見るべく、二人で畳敷きの清水座にもぐりこみ、幕合いのあかりで二階を見て、「今日は来てねえようだ」と胸をなでおろしたのは良かったが、気がついて見ると、隣に先生が座っていた。本当に名画だったのでおとがめはなかった。先生は今群馬におられる庄司英夫先生。

#### 52期 巻 正平 (相模女子大教授)

- ① 服はつめえりの学生服(カーキ色) 帽子は学生帽で桜の記章、白線二本入り、カバンはランドセル、脚絆(カーキ色) 着装。靴はズックか革の編上靴。
- ② 3年までは桃見台から徒歩、開成山の土手を右手に安達太良を仰ぎながら通う。当時一面の田畑で家屋なし、4年は御代田から自転車、5年は仁井田から往復20kmを自転車通学。
- ④ 昭和6年満洲事変、同12年日支事変が起こり軍国主義時代の中で軟派は存在しえなかった。当時は安女の前を通ることさえ禁じられていた。
- ⑥ 卒業と同時に東京高師理科第一部(数学科)に入学したが、不合格となった一高があきらめきれず退学、16年には一高文化甲類に入学でき、それ以来東京で45年にわたって暮らしている。
- ⑦ 数年前、同窓会総会に講師として招かれ「レジャーについて」講演。



代表取締役 大森直道 (第49期)

営業種目  
給排水衛生設備  
空気調和設備  
設計・施工

## 株式会社 弥生工業

東京都品川区南大井5丁目24番11号 ■神奈川支店■横浜営業所  
電話 東京 03 (763) 5231 番(代)・4751 番(代) ■川崎営業所■町田営業所

55期 竹花則栄(藤田観光椿山荘支配人)

- ① 履物は編上げ靴、下駄等を履く時は異装届けを出して許可を得る。  
オーバーコートは陸軍将校用コート  
或いは黒のマント。
- ② 須賀川から汽車、郡山駅より列を組んで登校、バス利用は許可が必要。
- ⑥ 一日も早く戦争に参加する事だった。敗戦により、サービス業に従事することが社会に貢献することと決めた。
- ⑦ 東京桑野会を明るく楽しい会にして後輩の指導をしたい。

55期 結城 洸 (㈱極洋 取締役)

- ① 入学時服帽子とも国防色、履物は長靴、校内上履きは運動靴、通学時はゲートル着用、カバンはランドセル。2年生以降からは教練の日以外はゲタバキ、上履はなく校内ハダシ。
- ② 麓山から徒歩、毎日安達太良を眺めながらの通学はいまだに忘れられない。
- ③ ドカベン持参、授業中に食べ昼時は売りに来たパン(コロケサンド)を食べた。3年頃からはパン屋も来なくなりドカベンのみ。
- ④ 弊衣破帽は硬軟両派に共通。硬派は他校生徒と喧嘩。軟派は女学生のしりを追う。私は中庸、大野先生の向かいに住んでおり、身動きできなかった。
- ⑤ 3年の時に英語の先生の排斥運動をし、先生はやめた。4年になって後任教師不在のため、受験にこまった。

3年生の時、着任挨拶中の配属将校を皆で笑ったため、烈火の如く怒らせ、羽曾部校長が青くなった。

- ⑥ 所謂、青雲の志しを抱いて上京する状態になかった我々戦中派は、卒業とともにそれぞれの道へ散っていった。  
私は戦後命をながらえて、水産を志し、現在に至る。

57期 高坂光(日立通信システム㈱)

- ① 国防色一色、ゲートル姿も勇ましく破帽に白線二条、桜章は燦然と青春の誇り。今残っていないのが残念至極。
- ② 自宅が赤木町だったので、徒歩40分。田園の畦道を時には高下駄をはいてガララン、通行禁止の女学校通りを闊歩して教官(配属将校)につかまることも。五十鈴湖畔の昼寝も楽しい思い出。
- ③ 毎日が日の丸弁当、麦飯に真っ赤な梅干し。時には卵焼。握り飯も本当にうまかった。雪中行軍のカチンカチンに凍った握り飯にむしゃぶりついた。
- ④ けっして硬派ではなかったが、まじめな安中健児でした。
- ⑤ 大東亜戦争の開戦と、学徒動員。親元を離れて横浜鶴見の京三製作所へ、卒業式も工場の中。空襲で着の身着のまま。大事な大事な卒業証書は灰になった。今でも卒業証書を再発行して欲しいと願って止まない。
- ⑥ とにかく給料が良く安定して生活できる道をと、東京物理(理科大)へ、教員生活14年、コンピューターに魅せられて、転職、情報社会の先端たらんとその道20年、そのうちシステム会社でも。
- ⑦ 年2回は帰省し、桑野御殿の前に立つ。企業に入って、安中出身は偉大であることを知らされた。

58期 池田和男(池田税務会計事務所)

- ① 昭和16年入学20年卒業、まさに戦争真只中の時代、戦闘帽に白線二本、カーキ色のゲートルにゲタバき、雨の日にはだし、軍事教練の日にはボロ靴。
- ② 開成山の近くに下宿、ただ閑静な町と言うよりは村との印象のみ。
- ③ アルミの弁当箱にひっそりと御飯と

漬物が入っていた。

- ④ 硬派一主として軍国主義に共鳴し、バンカラ風を愛し、積極的に行動する。  
軟派一日常生活と心情に、常に異性を意識し、かつ異性を追いかける。  
大多数の者達と同様、私はこのどちらでもなかった。
- ⑤ 学徒動員(4年生2学期から横浜鶴見の軍需工場で強制労働)。
- ⑥ 敗戦のショックと貧困と疲労の社会の中に明日はどうか判らぬまま、暗中模索の心境で上京。
- ⑦ 東京桑野会の盛り上がりの気運を喜んでいる。益々の発展を期している。


58期 中山佐次郎(社・栃高圧ガス保安協会宇都宮支部)

- ① 国防色の帽子に服、ゾックのランドセル、履物は牛か豚か忘れたが一応編み上げ靴。殆どこれで通した。
- ② 自転車で、片平から通っていたので、途中101部隊があり、そこに通う将校には、拳手の礼を欠くと言われていたので、ハンドル片手に沢山挨拶させられた。
- ③ 家が農家でしたので不自由はありませんでした。ただし19年の秋頃工場動員では大変だったと記憶している。
- ⑤ 私事ですが、2年より肋膜炎で体操教練など見学を少し肩身の狭い思いをしました。
- ⑥ 終戦直前の春三月、学徒動員をのがれ、小学校の代用教員として帰郷。しかし終戦後、気が変わり少々勉強をもし動員先であった横浜(今の国大)にうまく合格、卒業後都内の電気メーカーで全国の営業所を転々となりました。  
この半生もう少し要領良くやればと悔やむことしきりなれど、むしろこれからが大切と考えています。

**FROZEN FOOD**

**五十嵐冷蔵株式会社**

〒108 東京都港区芝浦 2-10-5  
 TEL 03 (451) 1111 (大代表)  
 テレックス 242-4442  
 常務取締役 吉田弘俊 (第52期)



**五冷**

IGARASHI

### 58期 小浜精吾 (団体役員)

- ① 汽車通学。特に男性乗車車両と女学生車両の区別あり。
- ② 粗食 (日の丸弁当に近い?)
- ③ 硬派と言ったら言い過ぎかも。
- ④ 事件と言うよりも、当時は所謂ミリタリー룩が華やかな時代であり、体力検定等も強制せられ、小生もお先棒をかつぎ、上級バッヂを取得し、誇らしげにしていた気がする。
- ⑤ 終戦後、進学のため上京。神田駿台予備校へ通う。いまは入るのに困難であるが、「安積」の名が通っていて無試験に近い状態で入学し、大学に進むことが出来た。

### 58期 梅村伍男 (板橋糧穀株)

- ① 軍事教練のある日は編上靴、ない日は高下駄にゲートル。帽子は我々の時から戦闘帽になった。クラスの何人かは黒か国防色の学帽を被り、せめてもの抵抗を示すものもいた。
- ② 同郷者と開成山に下宿していた。下校時の午後のひとつとき、仲間と競馬場の中州で相撲を取ったり、大神宮境内の安積疏水で洗濯、水浴をした。夜半は、五十鈴湖畔で“紫の旗行くところ”“天地の生气”等を唄い正大の気を養った。今あの辺は当時とすっかり変わったようだ。
- ③ 米の配給制度が始まっており、一日2合3勺では食べ盛りに足るはずなく、月17円の下宿代の他に米4升を補給していた。弁当は噛め、噛めで、級友から「遅飯食い」と冷やかされた。  
横浜鶴見の動員先で、飢餓感はひどく食事待遇改善のハンガーストライキをやった。工場長から「武士は食わねど高楊枝」と説教された。
- ④ 特に目立った者もいなかったが、運

動部の猛者が硬派に部類し、校門等で服装検査に目を光らせていた。軟派らしき者もなく、所謂文学愛好者も硬骨漢が多かった。

- ⑤ 太平洋戦争勃発、先生級友等の軍隊行き増加。通年学徒動員にて横浜、日本電解製作所へ、動員先で卒業式。  
2年生の時、県下陸上競技大会2部(1,2年生)で我がチーム優勝。
- ⑥ 農林省勤務、その後転動にて東日本の各地を歩く、今年四月に退官し、都内に再就職。



昭和19年 査 閲

### 59期 広川三男 (トーア工業株)

- ③ 弁当持参、3年生の頃は保土谷化学へ学徒動員で毎日粗末な給食。
- ④ 戦時中で何れも大したことはなかった。
- ⑤ 大東亜戦争の開戦(16年12月8日)及び終戦(20年8月15日)
- ⑥ 終戦による価値観の激変で、食べる事で精一杯、大志など持てたであろうか遠い昔になりました。
- ⑦ 百周年東京桑野会の行事は昔を思い出し、懐かしいものでした。思わぬ人に会い、又先輩の元気さには驚きました。

### 61期 市川重尚 (都立代々木高校校長)

- ① お譲りの学生服、復員の時持って来た軍服、軍靴、下駄、高下駄、風呂敷、スダ袋、帽子は被る時もある。
- ② 日和田から汽車通学、石炭事情が悪い時に定期券を使えず、往復20km近く歩いたこともある。バスは使ったことなし。
- ③ お弁当といっても、中味は米以外の炊き込みも。持っていければ、まだいい、白米ならオンの字であった。
- ④ 軟硬あったが、形の上で硬派、実質は軟派優勢。私はどちらでもない。
- ⑤ アメリカ軍政部の介入、ヤッペ先生の首切り。
- ⑥ もと東京に住んでいたの、当然のように上京した。自活に近い状態で東京教育大学へ通い、教員になった。
- ⑦ 東京桑野会のおかげで旧友に会えて大喜びです。

### 63期 須賀磐雄 (富士銀行)

- ① 入学時、中間、卒業時で変化、特に履物は編上靴～下駄～短革靴。カバンはランドセル～雑のう～ブックバンド、風呂敷等。
- ② 三和村富岡から自転車で大槻、開成山を経て、終戦後一時徒歩。
- ④ 軟派一女学生が関心の中心、機あらば交際のチャンスを狙っている。  
硬派-他校ツッパリ学生に関心、機あらばタタキたいと思っていた。私は硬派に属していた。
- ⑤ 敗戦、学制改革、高校への編入。
- ⑥ まさに大志をもって目標を樹てたが達成いまだ至らず。まずまずのところ……、能力相応と言うべきか。
- ⑦ 東京桑野会を通じて先輩後輩の繋がり輪が漸次拡がっていきつつあることが嬉しい。

優超えたら興銀発行の

ワリコー

年 6.134%

(税引後年 5.108%)

- 1年満期
- 税金は16%
- 確定申告不要
- 中途換金可能
- 無記名式

日本興業銀行  
池袋支店

〒170 東京都豊島区東池袋1-12-1

☎ 03(982)0111



63期 古川 清 (防衛庁参事官  
—本籍は外務省)

- ① 地下足袋。ズック製背カバン。服は布地の悪いカーキ色のもの。
- ② 徒歩。地区毎にグループに分けられ、班長の先導で歩いた。もっとも戦後は自由通学となったが、許可のないかぎりバスには乗れなかった。
- ③ アルミの弁当箱に梅干し、野菜の煮付のおかず程度。腹が空いて困った。
- ④ 中立派
- ⑤ 敗戦と進駐軍将校の学校訪問。
- ⑥ 何となく日本の為に役に立つことをしたくて東京に来た。

63期 中条正男 (劇団新芸術)

- ① 下駄(ほおば)、戦時中のカーキ色の制服、前半は疎開風学帽、後半は黒学帽。
- ③ 戦中、戦争直後は特に貧しく、代用食パン等、昼飯に皮のむいていないジャガイモ3コということもあったが、徐々に普通になった。白米を持って来る農家出の友人がうらやましかった。
- ④ 中派—いずれかが鮮明な人は一割位。
- ⑤ 中学4年の学校祭、高3の学校祭、どちらも演劇活動を行い、それが現在のぼくにつながっている。
- ⑥ 演劇を志向しながら、母親(父は亡くしていた)を心配させぬため東大法学部に進む。しかし演劇研究会の活動を続け、卒業と同時にプロフェッショナルを目指した。
- ⑦ 我々の劇団が今秋新設落成の郡山市民文化センターで、演劇公演を行う(12月2日)。それが安積百周年実行委員会の後援を得、意義深いことと張り切っています。東京での同じ公演(11月7日~15日・三越ロイヤルシアター)にも是非お力添え下さい。

63期 加藤靖(豊和建設㈱代表取締役)

- ① 昭和21年末に、元満洲国から引揚げ、3年生(野田学級)に編入して戴き、戦闘帽、軍服の古着、素足に下駄スタイルで通学。  
雪の上を裸足で歩ける。なんと内地の雪の暖かい事よと涙が出た。
- ② 引揚げ者の寮のあった富田村安積寮から、シンちゃん、シュンちゃん、タロちゃん達と安達太良風しの吹きささぶ中を放歌高吟しながら、桑畑の間を毎日毎日、歩いた歩いた。
- ③ 大根50%入りの大根めし弁当が多かったと思います。
- ④ 終戦になったのに、これから陸軍士官学校を受けたい位の硬派でした。  
もう少し早く軟化していたら、永山先生に勧められた音楽学校に行っていたでしょう。
- ⑤ 昭和22年「NHK素人のど自慢」第1回の郡山大会に安中代表で出され、鐘三つ!(今でも自慢の筆頭)。  
柔道の三船十段が郡山にこられ、安中のガニ六段が手玉にとられたこと。
- ⑥ 一日も早く社会に出たいと考え、4年終了で日大予科(三島)に入ったが、食糧難で身体をこわしてしまっただけです。
- ⑦ 旧制安積中学で学んだ事は私の誇りです。安積高校、桑野会共に益々発展されることを祈ります。

64期 佐藤司(亜細亜大学法学部教授)

- ① 入学が戦時中だったので、戦闘帽に白線二本。ゲートルに短靴姿。戦後高校になってからは、恩師からもらった黒の学帽に白線二本そして下駄ばき姿でした。

- ② 郡山市内通学でしたから徒歩でした。  
自宅が当時桃見台だったので、安積女子高校前を通れば近かったが、絶対通学してはならなかったから、遠回りして開成山大神宮の前に出て通学した。  
沖ちゃん事、菊地沖之介先生と、いつも一緒になったので、英語のコトワザや俳句を教わったのが今でも印象に残っています。
- ③ 弁当をもって行ってました。腹がへって弱りました。
- ④ 女性には無縁でしたから硬派のほずですが、所属が文芸部、そして新聞部創設、図書委員でしたから軟派と言うことになるのでしょうか。
- ⑤ 在学中に大東亜戦争に敗れたこと。  
駅前の自宅が大空襲で焼失したこと。  
高校新聞を並木さん、東原さん達と創ったことかな?
- ⑥ 将来、最高裁判所長官が検事総長になると夢をいっていました。奮闘努力のかいなもなく、今は私立大学教授。
- ⑦ 安積中・高校百年史の編集のお招きで、「安積を語る」(座談会)に出席。当時の恩師や地元の先輩と故旧を温めて来ました。



昭和27年応修 日本図誌大系より

ふるさと福島県の

東京支店

〒100-91  
中央区日本橋1-3-16  
大正海上日本橋ビル  
TEL 272-8701

東邦銀行

本店 / 〒960福島市大町3番25号  
TEL 0245-23-3131

新宿支店

〒160  
新宿区西新宿7-1-12  
薫友ビル  
TEL 365-0461

### 65期 篠崎武夫 (株赤原鉄工所)

- ① 戦後物資がない時代に入学し、兄弟も多かったので、冬の寒い日に旧校舎を靴下、足袋もなく雪の上を草履ばきでした。手袋もなくズボンに手を入れるとズボンのポケットは糸とじされ、ひびきれだらけの手を思い出す。草鞋の作りかた、ホーキの作りかたを習った。
- ② 池の台から約40分で徒歩通学。先日その道を歩いた。広い道が通っていて、昔は田んぼ、やぶであった所は住宅や道になっていた。田んぼでいなごを取って佃煮を作って食べた。
- ③ 米がなく、かぼちゃ、よもぎ、あかぎを入れたすいとんをすすった。メリケン粉、とうもろこし粉を手製のパンヤキ器でやいて食べた。かぼちゃで肌が黄色くなった。
- ⑤ NHK放送局に毎土曜にプロ野球の放送を聞きに行った。巨人が麓山球場にきた。川上、中尾、千葉、中島を見た。

### 66期 遊佐隆 (友友生命保険相互会社)

- ① 素足に朴歯、風呂敷、学生服、2本線の学帽。
- ③ ジアルミンの弁当、おかずは前夜の余りもの。2,3時間目には腹の中。昼はコッペパン。
- ⑤ テニス部に入り、安女のコートで胸ときめかせてプレーしたこと。

### 66期 浜崎洋光 (会社員)

- ④ 硬派は現在の突っ張り学生、軟派は安女、郡女生とウマクやってたよう。私は中道派。
- ⑤ 親父のいる学校はいやであった。高校3年間は、灰色の青春だったような気がする。その中で2年生時、先輩に加わりバレーボール県大会準優勝出来たことは嬉しかった。

### 68期 有我政彦 (東京消防庁)

- ① 履物は白緒の朴歯の(ななめにすりへった)高下駄。服は譲り受けた学生服。カバンは火災類焼の直後故、布製のズダ袋。帽子は一帽(穴あけ)。
- ② 水郡線から仲間と一団となって徒歩。舗装路を下駄音高く、時間ギリギリで走りあるいた。
- ④ 典型的な硬派。しかし心の中には思い出の女性を秘めていた。
- ⑤ 上履の草履禁止令。加藤校長と談判のすえ敗れたが、徒に抵抗し、ズックを履かずに草履でとおした。(当時生徒会長をしていたので、立場上もエゴを張ったと思う)
- ⑥ 火災被害の惨めさを体験しただけに、防災に対するひとつの志向が潜在していた。その後東京消防庁に採用となり、防災一途30年。
- ⑦ 仕事の関係で椿山荘竹花支配人に逢うことができました。

### 71期 佐藤栄佐久 (参議院議員)

- ① 制服、制帽、高下駄。
- ③ 弁当または売店にてアブラパン。
- ⑥ 昨年参議院議員に当選して仲間に入れていただきました。
- ⑦ 100周年式典に文部大臣をおよびするべくがんばってます。

### 76期 浅川章 (警察庁)

- ① 詰め襟の学生服、学帽にズック靴、時々下駄、手提げカバンでした。
- ② 西白河郡矢吹町から通学した。自宅から水郡線泉郷駅まで自転車、駅前一安高、バス、朝は早起きで6時起床。
- ③ 弁当でしたが、お腹がすくとよく売店でアンパン等を買って求めた。
- ④ 学生服の汚れも気にせず、典型的な弊衣破帽主義者だったように思います。

- ⑤ 田舎町出身の私が、生徒会役員に立候補し、まさかと思っていたのに選出された、生徒会長の山崎司君とは以後も親交を結ぶことになりました。
- ⑥ 昭和38年卒業、昭和44年警察庁に入り、秋田、埼玉、大阪、等で勤務し、現在警察庁給与厚生課に勤務中です。
- ⑦ 母校の先輩、朝河貫一氏について、昨年9月「最後の日本人-朝河貫一の生涯」(岩波書店)が出版され、大きな反響を呼んだことです。

### 77期 篠崎龍夫 (出光興産株)

- ② 学校の前の道を自転車で通学。雨天の日のみバス使用。菜根付近に新しい一戸建住宅が増えつつあった。
- ③ ドカ弁に梅干しと焼魚等はぼ一品。早弁が得意で、昼食時には揚げパン。
- ④ 軟派:夜遊び、タバコ、ガールハンウトに注力している人。私は硬派。
- ⑦ 当社に4人も同窓生がいた。去年3週間程海外旅行したが、その同行者の1人(名大名誉教授佐々木正氏)が大先輩であることを最後の頃に知った事。

### 78期 椎野靖啓 (中目黒消防署)

- ① 履物は高ゲタで真冬も裸足。カバンは布製、帽子は兄貴の古いのを好んで使用していた。夏は半袖Yシャツ。
- ④ どちらかというとな軟派。3年のころは良くダンスホールへかよった。安女の生徒や銀行の女の子がよくきていた。
- ⑤ 津口校長の不正入試事件。3年の時、ゲタバき通学禁止でもめたこと。
- ⑦ 現在我々東京消防庁に4名の同窓生がおり、東京桑野会を盛りたてていくように言われている。提案、気軽に出入り出来る東京桑野会の事務所を持ってほしい。事務所の女性は安女のOG。

有利さで選ぶなら

## 中期国債ファンド

1カ月複利の効果で  
いつでも一番有利



## 倍成証券

本社 東京都中央区日本橋兜町13-2  
☎ (666) 1431 (大代表)

本店営業部長 近内靖夫 (第69期)

## ビデオ遺言

39期日下部豊吉

59年7月6日夜10時。NHK総合テレビ首都圏「通夜のみなさまへわかれの言葉のビデオ遺言」の放映があった。画面古い掛時計の振り子の中から、私の浴衣姿があらわれ盃をあげて語りだしたのである。こんなことになるとは夢にも思わなかったし、ビデオ遺言というものにハッキリした考えもまとまっていないうちにNHKの急襲にアレヨアレヨという間もなく取材録画に晒された結果がこれであった。この放映をごらんになった方はお気づきと思うが、仕掛人は庭瀬康二という流山市江戸川台の庭瀬クリニックの院長、私の主治医である。彼はメデュトピアの事務局長である。メデュトピアとはメディスン（医学）、エデュケーション（教育）、ユートピア（理想郷）の三語を合成した造語で、高齢者の地域医療を旨とした構想で、2010年代の高齢者となるべき人々が、その時期の高齢者対策を自らの頭と手足で模索してゆく運動である。会長は哲学者の谷川徹三氏で谷川俊太郎（詩人）は庭瀬の従兄だと言えれば多少はわかるだろう。

庭瀬康二は「ガン病棟のカルテ」という著書がある。これでわかるように内臓外科の権威者であるが、高齢者医療のあり方に疑問を持ち大病院の科長の椅子を捨て、流山市に開業しメデュトピアの構想の推進に乗りだし、5年になる。このメデュトピア活動の一部に老稚園があり、私がその園長であるとなればもうネタは割れたようなものである。

ニューメディア討論会がビデオ作家の

かわなかのおひろを招いて行われた昨年10月後にビデオ遺言が話題になり試作第1号を引受ける破目になったが、教育者でも、宗教家でもない一介のサラリーマン、会社人間から辛うじて逃げただけの人間に、何を言い遺すことがあるものかと思ったが、履歴書の抜き書、自分史抄ならばと安中百年祭のこともあり、花の季節を選び4月28日に母校旧校舎を訪れ、講堂のシーンを録画し、郡山の何ヶ所かを取材してきた。それを原画としてその後の構想を練っているところをNHKの取材攻勢にあい7月6日の放映となった次第である。

私自身のビデオ遺言は私の生存中は未完成であると放言して憚らないが、第1回の発表は9月16日に老稚園三周年記念に公開することになっていること、この機会に色々な人々の死と老、又は生きがいといったものへの個性ある考え方とふれ得たことを感謝していることを表明してこの文を終ります。

## 彫刻家としての私の所感

50期 佐藤 義重

昭和9年、私が安積中学在校2年生のとき創立50周年の記念祭があった。安積50年の垢を落せと藁縄で作ったタワシで、長廊下を磨いた記憶がある。80周年の記念式典に参列したのがついでこのことのように思っていたが、今年は、百周年記念祭が秋に盛大に挙行されるそうで、誠に御同慶の至りで心から慶祝を申し上げる次第です。あれからいつの間にか半世紀の時が流れました。

安積在校当時、図工の先生に石川一郎先生が居られた。先生は東京美術学校図

画師範科をおでになられた方で、私の東京美術学校彫刻科への進学希望を知られて、特別の御指導をいただきました。須賀川から汽車通学でしたが美術学校へ入るには、特にデッサンの勉強をしなければ入れないと云うことで、開成山の知人宅に下宿をさせてもらって、放課後にデッサンの特訓を受けました。昭和13年春に安積中学校を卒えて同年東京美術学校彫刻科塑造へ入学出来ましたが恩師石川一郎先生の御導きがあったればこそと有難く感謝致して居ります。

東京美術学校在学中に太平洋戦争が始まり、学徒動員で卒業が半年短縮され、昭和17年9月に卒業して1週間後に、会津若松の東部24部隊に入隊、終戦を南支那で迎え、翌21年に復員して須賀川の自宅に帰り、23年春に未だ焼け跡だらけの東京へ出て来て現住地へアトリエを建て、毎年日展へ出品して制作一途の生活に入り現在に至っていますが、昭和38年に在京50期生（東京五十鈴会）の応援を受けて、丸ビル中央公論画廊で個展を開催。昭和43年に50期生（五十鈴会）が卒業30周年の記念行事として私の個展を全面的に応援してくれて地元の郡山市商工会館に於いて、にぎやかに開催出来ましたのも安積の五十鈴会の友情の賜でした。

彫刻の展覧会へ御案内した際などよく問われることですが、彫刻作品を觀賞するには、如何な観方をしたら良いのかと云う質問です。私はそんなときに、いつも次の様なことをお話します。

私達の肉眼は立体の表面の視角に入るところだけを観ていますが、立体は中身のある一塊性のもので、そのなれの果ての姿を観ていることになります。ですから肉眼に映じたものを通して、もう一つの心の眼を動かして、立体そのものを感じ取る様な気持で觀賞することが大切な

ど〜んと有利で出し入れ自由

# 中期国債ファンド

- 1ヵ月複利
- 手数料なし
- 出し入れ自由
- 適格

第一証券

本店・東京 日本橋 三越前  
☎(03)244-2611  
全国主要都市39店舗  
海外/ロンドン・ニューヨーク・香港

設定運用は第一投信  
お申込みの際は受益証券説明書をご覧ください。

ことで、そうすることによってはじめて彫刻芸術の観賞の方向に心が向くこととなります。と申し上げます。美事な作品は素晴らしい心の眼を備えた彫刻家によって創り出されます。その作品の美を観賞するのに心の眼が必要になるわけです。彫刻芸術の本性は立体感に在り、その命は詩魂に在る。と高村光太郎が彼の造型美論の中で云っていますが全くその通りです。立派な作品は人間が作った感じではなくて、内から充実して自然に生れ、其処に厳しく存在し、吹き消し難い感じのするものでなければなりません。彫刻芸術の魅力の源が此の処に在り、それによって無限の充実感と安らぎをおぼえます。この欲びを極限に求め、渴望して人間は彫刻の世界を求め、そしてその渴望が癒されます。

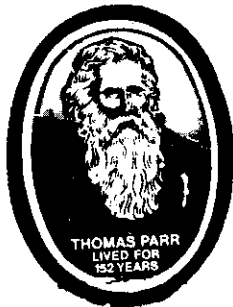
安積百年を慶祝し、併せて彫刻家としての私の所感を述べさせていただきます。

## オールド・パーの励まし

58期 山本 佳

国電王子駅からバスで15分程入った足立区新田という部落に都民ゴルフ場がある。荒川の河川敷でパー65の短いコース

だが、発生は古く若き日の青木や金井プロ等が在籍していた所で、茨城ゴルフクラブと姉妹コースである。予約なしに行ってもフロントで何とか都合をつけて呉



れ、直ぐにスタート出来る事と自宅から40分後にはコースに出られる安直な点が気に入って月に1、2度ブラリと出掛ける。

河原なので何年に1度か冠水の憂目を見るが、水鳥や野鳥がコースに群れ遊んでいたりして此処が東京かと思う風情さえある。そこのメンバーに安積の先輩が2人おられる。47回卒の須賀川出身、福島高商を出て元石川島播磨重工業に勤務されていた古川淑夫氏と、55回卒で陸士から日研化学勤務の五十嵐源三氏である。

7月の中旬、私はクラブコンペの文月杯戦に出場した。梅雨明けが宣言されギリギリした太陽が河川敷のフラットなコースを容赦なく照りつける。一緒に組合せになった小肥り丸顔の古川先輩が、アウトのハーフをラウンドした所で帽子を脱いで額から流れる汗をタオルで拭き乍ら、「暑いですなあ、私は肥っているんで汗かきで夏は苦手です。山本さんは銷夏法を何かおやりですか、そろそろ土用の丑の日も近いですね。こう暑くっちゃあ食物でスタミナをつけないとね」「アリナミンを毎朝1錠服用する程度です。それと早起きして上野の不忍の池の周りを軽くジョギングしています。強精剤にはロイヤルゼリーとか梅酒や、まむしの粉末など種々ある様ですね」ベアグラントで汚れたボールを拭き乍ら私は答えた。「強精剤と云へばオールド・パーの話を御存じですか」古川先輩が問いかけて来た。「白髭の古老のラベルのあるウイスキーですね、ネイミングの主ですか？ 海外旅行の時など免税店でよく購いますよ」「そうそう、あの長い白髭のお爺さんの事なのですがね」古川さんは真顔で語り始めた。

「あの人はトマス・パーという人で何と152歳迄長生きをしたのです。良く見る

と肖像画の下に LIVED FOR 152 YEARS と書いてあります。

史実に残っている確かな話なのです。イングランド王、十代の御代に生き抜いた男なのです。彼は農家暮らしをしていて、80歳の時、結婚しました。しかも初婚です。そして次々に二児をもうけましたが二人とも幼年のうちに失っております。105歳の時、隣には稀な美人といわれたカサリン・ミルトンと、わりない仲となり不義の子さえもうけたのです。不義密通はこの地方としても当然咎められ、教会に呼び出され白いシーツの真ん中に立たされて大勢の参会者の前で懺悔を強制させられたという事です。私は聞いていて、生唾のみ身を乗り出した。

「トマスが122歳の時、最初の妻を亡くしましたが、同じ年に二度目の妻を迎えました。122歳ですよ」古川さんは、まるで曾祖父か祖父の自慢話の様に目を輝かして話を続けた。

「それから30年間、又、平凡な静かな歳月が過ぎたが152歳を迎えたばかりのトマスに大きな変化が起ったのです」余りのロングランに私は溜息をついた。

「名門の一族アランデル伯が領内を視察旅行中、この老いてますます旺盛なトマス・パーの話を耳にはさんだのです。ウェールズに近い辺境からロンドンへ彼を呼び寄せ手厚くもてなしたのです。ロンドン迄の道中は一目でもこの長寿の顔にあやかりたいと、行く道の先々には群集が待ち構え、彼の二頭立ての馬車は遅々として進まなかったと言われていました。それまでの出舎老農夫は打って変って一躍ロンドンの名士に成ってしまったのです。チャールズ一世に拜謁の栄を賜わり民間人最高のサーの称号を享けました。高名の画家ルーベンスやファンダイクに肖像画を描かれたのもその時です。その

# 貼れ、のち、晴れ。

セイヨウトチノミエキス

自然の生んだ新成分、抗炎症生薬を配合。

肩こり・うちみ・ねんざ・筋肉痛に

## 三共シツプ-A



爽快に、新発売。



10枚入

1つであるルーベンスの肖像画がウイスキーボトルの裏にあるラベルの顔なのです。人気男になったオールド・パーは世間のオールド・パーブームに対し淡々として、毎日元気に規則正しい生活を送っていたが、田園生活とは激変の高級生活と美食の毎日が禍いとなり半年後に死亡してしまいました。その時の医師の検視によるとトマスの内臓には何ら老化は無く喰べ過ぎによる急死という診断であったのです。チャールズ一世は彼の死を大層惜しまれて、ブラウニング、シェイクスピア、ミルトン、バイロンなど錚々たる文人、詩人、哲学者の墓のあるウェストミンスター寺院に彼を永眠させたと言う事です。墓碑に次の様に書かれてあります。

サロップ州のトマス・パー、1483年生れ、十代の王朝、すなわちエドワード4世、エドワード5世、リチャード3世、ヘンリー7世、ヘンリー8世、エドワード6世、メアリー女王、エリザベス女王、ジェームズ1世、チャールズ1世の時代に生きる。享年152歳、1635年11月15日ここに葬る。どうです山本さん、たいしたもんですねあ」

古川さんは物語りを終えた。私はとくに外国の1人の骨太な男の、気の遠くなる様なドラマチックな人生に想いを馳せていた。荒川の川面に水鳥が群れ遊んでいる。心なしか先程までのあの灼けつく様な暑さも、どこかに飛んで行ってしまった。

インのスタートのティグラウンドに立った古川先輩は勇氣凜凜と、クラブの素振りをして「オールド・パーの爪の垢でも煎じて飲みたいものですねあ」と、少年の様に無邪気に笑った。

## 演劇で100周年に参画

63期 中城まさお

ロンドンの或る劇団が東京に来たとき、ぼくの劇団のスタジオ、渋谷猿楽町空間で座談会をやりました。ぼくたちの普段の活動の説明を聞いたあと、彼等の一人



### 旧本館講堂での英語劇

— 昭和22年戦後第1回学校祭 —

橋本伸一	王さま	現 第一勧業銀行取締役
中城まさお	プリンセス	劇団新芸術代表
古川清	左端	防衛庁参事官
阿部和司	その右	国際証券、企業金融部長
鶴沼直雄	その前	三井記念病院内科部長
斎藤俊	右端	大同特殊鋼常動監査役
大橋力雄	その前	大橋税務会計事務所長
郷喜一先生	その左	
津田悌校長代行	前列中央	
増子久三郎教頭	前列右端	

(写真は残念ながら二重露光のようです。)

## 祝母校100周年

安積高校100周年実行委後援行事(郡山)

文化庁芸術祭参加公演 **ガラスの動物園** 演出/中城まさお

テネシー・ウィリアムズ作 アメリカ名作現代劇

**東京公演**

呉服橋 三越ロイヤルシアター  
11月7日・9日(6時半) 11日(2時)  
8日・10日(2時・6時半)  
前売 2,700、当日 3,000  
お申込は、はがきで劇団宛  
桑野会何期とお書きをえを

東京公演の成功を持って  
郡山の100周年委後援事業  
に臨みたいと希っています。  
ぜひ力をお貸し下さい(団体  
個人を問わずお申込みを!)



劇団 新芸術 東京都渋谷区神泉町15-17  
〒150 ☎(03)476-5650

代表 中城まさお (東京桑野会 63期)



ず観に来てくれる大勢の旧友。団体客のキャンセルで困っていたとき急遽べつの団体を世話してくれた会社役員。ぼくの不得意な経理会計の面倒を継続的にみてくれている彼。かけ出しの頃「ハムレット一人芝居公演」に英国文化振興会推薦をとりつけ、その後の海外公演の在外大使館との橋わたしまでしてくれた彼。一々名前をあげないのは、つまり友人、知人すべてに力を貸して頂いているからです。

この秋(11月7日～11日)、日本橋近くの三越ロイヤルシアターで芸術祭参加公演として「ガラスの動物園」を上演します。その芝居を持って、12月2日午後、郡山で新築落成(元郡山専売局跡地)の市民文化センターで上演しますが、これが安高100周年記念実行委の後援行事になり、先日の東京桑野会総会の宴席でも大勢の同窓生から励ましの言葉を頂きました。なんとかして母校100周年に参加したいと希っていたことが、このような形で実現に近づいたことで、これは是が非でも成功させたいと、背水の陣とも言える意気込みで準備に当たっています。観客の皆さんに瞬間の感動をもたらすことでしか恩返しできない我々ですが、この意気込みに免じて、ぜひまた力を貸してやってください。

## 同期のぼたん交遊録

63期 大津 隆

なぜ「ぼたん」かと言うと、ここ20年近く夏ごとに私たち63期は神田須田町の「ぼたん」といふ鳥料理屋で顔を合せているからです。鶴沼直雄君(三井記念病院消化器センター内科部長)がお医者さん

仲間の会合で使っていた店です。この「ぼたん」に一度室根先生が出席なされ大変お喜びになられたこともございました。鶴沼先生は皆様御存知の様に成人病の権威で、同窓生で彼のお世話になっている人は多数居ます。今回の東京桑野会母校創立100年祭を主宰された澤田会長も一寸した故障で同病院に入院され、なんとこの総会当日に退院され間に合ったといういきさつもありました。

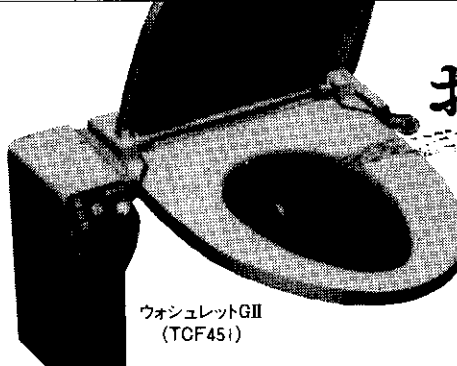
私たちの期はかなり名簿が完備されている方だと思いますが、これまでその連絡に特に骨折ったのが大橋力雄(大橋税務会計事務所)境井昭三(商工中金調査部)菅野寿夫(レコインターナショナル)などの諸兄で、私も及ばず乍ら協力しています。会の出席者の中には根本久雄君(横浜市立大商学部教授)橋本良夫君(日立製作所青梅工場長)斉藤俊君(大同特殊鋼常勤監査役)渡辺太郎君(東京ナショナルサービス社長)大越道雄君(三菱レーヨンシステム部長)橋本伸一君(第一勧銀取締役)中野孝夫君(日綱石油技術部長)その他数えあげればきりがないのでやめますが、私が特に親しくさせてもらっているのが古川清君(防衛庁参事官)で、いろいろなことでお世話になっています。彼は国の要職で多忙の身であり乍ら、実によく友人の面倒を見る人で、何度か共通の知人よりこれこれ古川さんに御世話になった、今度会ったら大津からもよろしくいってくれといわれます。彼が韓国公使の任にあった頃、遊びに来る様に誘われ横田利光君(故人63期)と2人でゴルフバッグをかついで出掛けました。名門コースとアメリカ第8軍のコースでプレーをしましたが両日とも大雨で特に第8軍の時は他に全くプレーヤーは見られず、しかも早朝、食堂に戻ったらジャーパニーズはクレージーとアメリカ

カ人に笑われました。いまは亡きタフネスを誇った横田君とあの思い出を語れないのも残念です。その後郡山の63期同期会の折横野先生が韓国旅行の際、古川君に非常に歓待され「国賓待遇だったよ」と皆の前でお話され喜んで居られました。大津はあの公使公邸に泊ってもらったのか、よかったなあとびっくりなされて居られました。

彼と同じ東大法学部出身で、なぜか舞台俳優兼演出家に転じた中城まさを君も、海外公演では大いに古川君の世話になったと言っています。中城君と言えば、私自身も写真家を志した時期があり、彼をモデルに頼んでソニーマイクロテレビを素材に広告写真の撮影をやったことがありました。野心作であったのですが残念乍らそれは企画に乗らずその後しばらくして「オオツヤ」の仕事に専念する様になりました。私の経歴にもそうした部分があったのです。中城君はこの12月郷里郡山で演劇公演をやりますが、それが母校100周年実行委の後援行事になって、大いに張り切っています。それに先立つ11月東京で同じ演目の公演を行います。これを是非成功させて郡山へ、ひいては100周年に送りこみ度いというのが私の希いです。同窓生諸兄、ぜひ客席をいばいにしようとお力添へお願い申し上げます。(細目はこの会報の広告を御覧下さい。団体のお申し込みも大歓迎だそうです。)

さて、最後になってしまいましたが、竹花幹事長はじめ先輩役員の皆様の御努力で今回の記念総会が大成功をおさめることが出来私も幹事の一員として澤田会長を盛り立て東京桑野会の発展に力を惜しまぬ覚悟です。

同窓の皆様の一層の御健勝心からお祈り致します。



# おしりたがって、洗ってほしい。

マイコン制御で、洗う、乾かす、暖める…と、すべてをコントロール。しかもビデ洗浄付です。新しいウォシュレットは、マイコンによる自動温度制御方式。洗浄、乾燥、暖房便座の温度は、すべてマイコンがコントロールしてくれます。

だから春夏秋冬、いつもおしりは快適。お子様、ご老人、身体の不自由な方でも、ラクな姿勢で使え、痔や便秘にも効果的。又、生理中、妊娠中、出産後などの女性のためにビデ洗浄も設けました。

●洗浄・ビデ・乾燥・暖房便座 ¥149,000

良いものだけを作りたい。

## TOTO

### ウォシュレット

東陶機器株式会社本社 ☎093-951-2293  
北九州市小倉北区中島2-1-1

## 安積高校時代の「思い出」

66期 野田 広

はや安高を卒業して31年になる。一口に31年と言ってもいろいろな事柄がありました。私が安高に入学したのは25年、入学以前までは旧制の中学であった訳だが、橘小学校、橘中学校（新しく6・3・3制の第1期）と野球をやっていたし「飯より野球が好き」と言う位で大変盛んな時代であったので中学時代の優秀な者がぞくぞくと入学して来た。

私も早速野球部に入部した。そう言う訳で、安高時代は野球に明け暮れ、理解ある学校長、先生方、先輩、同輩に恵まれ、1年生の秋季戦（白河市で開催）での県下大会、2、3年の夏の県下大会で各々優勝することができた。思えば無我夢中で一生懸命野球に精根を打ち込んだ時代、「何とか甲子園に出場したい」だから練習もお正月以外は試験の時でも欠かしたことがなく毎日暗くなるまで練習を重ねたものだ。2年生の時、夏の県下大会に優勝し、東北大会（当時は福島県、宮城県、山形県、三県で一校が甲子園出場であった。）の決勝戦で伏兵福島商業

に4対1で惜敗した訳で、我々選手一同も県下大会で優勝しただけに負ける気持はなく甘さなり油断があったのではないかと後悔したものだ。又、3年生の夏季県下大会にも優勝し、山形県米沢市で行われた東北大会でも準決勝で山形南高校に破れた。この日は米沢市独得の夜来の雨後、酷暑には本当に参った。今思い出してもぞっとする気がする。又、27年宮城県で開催された国体にも出場出来、当時甲子園大会で準優勝した八尾高校と対戦し投手戦を展開したことを忘れられない。この記事が掲載される頃は又甲子園大会が行われていることと思うが、安高100年の歴史の中で未だ一度も甲子園出場の機会に恵まれていない。今年100周年に因んで明大校友会郡山支部が中心となり、明治大学野球部の現役選手3人をコーチとして迎え1週間コーチしてもらい、私も3日間程同行し、31年振りに母校安高グラウンドに立ってみたが懐かしさで感無量の一言でした。良き設備、選手数60名（私達の時は2、30人位）にのぼる人数で大変恵まれている訳で、先輩の達成できなかった甲子園出場を是非実現して欲しい。

安積高校と読み違いされないために、又、国立高校（東京）土佐高校（四国）等進学高校が立派に甲子園出場をやりと

げているのではないか。できないことはない。必ずできる。文武両面での活躍を期待してやみません。

尚、記憶違いがあればご諒承願いたい。

## 編集部会からの お知らせ

皆様の御陰をもちまして、東京桑野会会報も5号を重ねるに至りました。来年からは新しい101年の出発に当たり、東桑会のさらなる盛り上がりのために、来年4月の総会に向けて第6号を発行します。会報をより読み応えある、素晴らしいものにするために、出来るだけ広い分野、世代からの原稿を期待しております。テーマは特に問いませんが、例えば、あなたの期の活動について、東京桑野会への提案、あなたの近況について等、原稿をおまちしております。原稿は下記へ来年1月中旬までにお送り下さい。合わせて伝言板のメッセージもお寄せ下さい。

〒107 東京都港区南青山6-8-7-102

櫻井 淳計画工房内 東桑会編集部  
尚、広告は一枠¥30,000（会員）です、皆様のご協力をお願いします。

## タカラ ホーロー 住宅設備機器

ホーローが結ぶ暮らしのスペース  
…ホーローシステムライフ

システムキッチン 洗面ユニット システムバス 給湯機器 風呂釜

## タカラスタンダード株式会社

本社 大阪市城東区鴨野東1丁目2-1  
☎(06)962-1531(代表)  
東京支社 東京都港区赤坂7丁目1-19  
☎(03)404-2511(代表)



好評連載！  
安積高校百年

# わか草萌ゆる 刊行!!

【内容】①100年の歩み ②名物先生  
③活躍するOB ④伝統受けつぐ若人  
⑤資料 他

●定価  
2,000円

※9月8日、母校の記念式典会場でも販売します

申し込み先

●〒162 東京都新宿区市谷八幡町14 美福ビル6階  
福島民報社東京支社 ☎03-267-3570  
●〒960 福島市太田町13-17  
福島民報社企画事業局出版部 ☎0245-31-4172

## 伝言板

☆ 安中・安高創立百周年記念クラス会を7月21日に行い、懐かしい母校で記念植樹をいたしました。次に東京で開催する時は、同窓の竹花さんの椿山荘で行うことになりました。乞出席。(52期・吉田弘俊)

☆ 東京桑野会母校創立百周年祭、お陰様で無事終了することができました。本会を恒久的に維持発展させて戴くため、同窓の皆さん御一緒にお知恵を拝借させていただきます。

特にこれからは高卒OBの皆さんの時代です、59、60期以降の「学兄」の御健闘をお祈り申し上げます。(58期・小浜精吾)

☆ 78期の東京での同窓会を12月に開催の予定です。連絡は椎野靖啓(0488-66-2491)、櫻井 淳(03-498-4315)まで、近く連絡をとるつもりです。

☆ 79期五十嵐博郎君の消息を御存知の方御連絡を下さい。

(79期熊田宗久-三郷市早稲田5-11-16)

☆ お陰様で好評の百周年記念のネクタイピン(東桑会製¥2,500)の在庫はあと40個となりました。申し込みがあり次第お送りします。頒布所は名簿と同様の住所です。事務局便りを御参照下さい。

(東桑会・事務局)

☆ 現代日本繁栄の礎を固めた明治期の歴史の証拠を集大成した毎日コミュニケーションズ・明治ニュース辞典編纂委員会発行の「明治ニュース辞典」(全8巻¥216,000)第4巻表紙に母校安積の校舎が使用されていますので御紹介します。

(東桑会・広報部)

## 事務局便り

◎ 創立百周年記念東京桑野会会員名簿

頒布について

<名簿代 500円 送料 350円(実費)>

送付希望の方は振込用紙で東京桑野会事務局へ

直接受取の方は下記へ

- ・中央区銀座8-15-15 銀座原ビル  
武藤法律事務所 武藤一駿 電話 543-9354
- ・新宿区1-3-8 YKB 新宿御苑804号  
斉藤法律事務所 斉藤英彦 電話 356-6677
- ・千代田区神田2-10-2 不動前ビル  
佐伯、星、岩崎共同事務所 星 武典  
電話 254-8531
- ・文京区関口2-10-8 椿山荘 竹花則栄  
電話 943-1111

◎ 年会費お振込について(59年度分)年会費は会の運営上欠かすことの出来ない資金です。特に3,000名を越える会員への会報、総会の案内状等の作成費として通信費です。会の財政逼迫のおり、未納の方は事務局までお送りください。(年会費・千円)

どうぞ同窓生諸氏のご協力をお願い申し上げます。

◎ 名簿作成に関して、誤植等がございましたことをここに詫言申し上げますと共に転居、転任、転職等の変更がございましたら、名簿の充実を期すためにも必ず事務局へご連絡をお願い申し上げます。以上  
※59年度総会へ出席されなかった方へは各期の幹事よりPRしてください。

## 編集後記

「これは漫画だ」と一生懸命徹夜提出した宿題の製図をその場で冷酷に極め付ける若き日の高山栄華先生(東大名誉教授)その孫弟子にあたる櫻井淳計画工房に編集上大変お世話になった。100年の歴史はたしかにずしりと重い。それをどんな形で表現したらとそれなりに気づけりしたが結局は「アンケート」の返事待ち。お粗末は編集子の責任で多謝。櫻井淳計画工房の営業品目は小さなさき小屋から都市計画まで。なんでもどうぞ。東桑会員は割引扱とのこと。

NHKテレビで「ビデオ遺言」という一寸聞きなれない文字でスイッチを入れたら、安積の大講堂で校歌を歌う日下部豊吉(39期)先輩の映像。総会でお目にかかり、早速原稿を依頼出来た次第。谷川徹三さんの信者?になって「メデュトピア」の実現を。成功をお祈りします。

4号「屋上の四季」に続いて、山本佳さん(58期)の「オールドパー物語」相変わらず軽快な筆致です。ゴルフ場が出て来たのでゴルフ談義と思ったら敬老談義。ゴルフ談義は6号で沢田会長(社・霞ヶ関カントリー倶楽部理事長)をお願いする予定(乞ご期待)。

(長谷川)

特集記事を担当し、先輩方の生活史とその時代背景を垣間見ることができ、安積の歴史を感じました。初めこちらの段取も悪く、アンケートが集まらず、長谷川先輩にお詫びの会報でも出しましょうかと冗談を言っておりましたが、締切もせまり、本当に焦りを感じました。しかし諸先輩のご慈悲でもって、どうにかなったようです。有り難うございました。(櫻井)

# 明治ニュース事典(全8巻)

## 明治ニュース事典の解説・監修

### ■歴史・新聞史解説編

各巻には収録年代の解説編集として、「歴史解説」と「新聞史解説」を組み入れてありますので、時代の流れを把握し、本文記事をより深く読む有力な手掛かりとなります。

### ■復刻記事の収録

主要事件、号外、スクープ記事など新聞史上重要な意味をもつ記事紙面は復刻記事として巻頭に収録します。これによって当時の生々しい報道の姿が把握でき、資料的にも貴重な意味をもたせます。

### ■広告・写真・風刺画一覧

東京日日新聞、大阪毎日新聞などに掲載された主な広告を年代順に復刻、また写真、風刺画も収録しました。文明開化そのものの明治の動きが手に取るようにご覧いただけます。

### ■監修

内川 芳美(東京大学新聞研究所教授)  
松島 栄一(元東京大学史料編纂所・大東文化大学教授)

### ■編集顧問

北根 豊(東京大学法学部・明治新聞雑誌文庫)  
藤井孝四郎(弁護士)  
宮地 正人(東京大学史料編纂所助教授)

### ■編纂委員

枝松 茂之(元毎日新聞社編集主幹)  
杉浦 正(元毎日新聞社・社史編集室、紙面審査委員)  
鈴木 利人(元毎日新聞編集委員)  
八木 晃介(毎日新聞社大阪支店・大阪市立大学講師)

### ■資料提供

●東京大学法学部附属近代日本法政史料センター・明治新聞雑誌文庫●毎日新聞社調査部●毎日新聞社社史編集室・新屋文庫●東京大学新聞研究所・資料センター●東京大学史料編纂所